令和8年度　年間指導計画

沖学園高等学校　通信制課程

教科	情報	科目	情報Ⅰ	履修区分	必履修	使用教科書	東京書籍『新編　情報Ⅰ(002-901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	6	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座

学習の目標

○情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
○事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。
○情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

学習に取り組む際の注意事項

単位認定試験	添削指導，面接指導を全て修了後に受験。

単位修得（認定）に当たっての基準

評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導	単位認定試験	観点別評価 観点	観点別評価 評価規準
1章　情報で問題を解決する（P7～P34）	1	5月2日		知識・技能	・情報やメディアの特性を理解している。 ・問題解決のプロセスを理解している。 ・発想法の基本的な考えを理解している。 ・インターネットを利用する際に守るべき決まり事について理解している。 ・個人情報とは何かを理解している。 ・インターネットの適切でない使い方で起こる問題を理解している。 ・著作権では、どのようなものを保護しているか理解している。 ・身の回りの情報技術の活用場面を理解している。 ・情報化の進展による生活の変化について理解している。 ・よりよい情報社会を築くための情報環境について理解している。
				思考・判断・表現	・伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。 ・身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。 ・発想法を使って表現することができる。 ・法律が社会の変化に対応できていない例を考えることができる。 ・自分の個人情報を、どこまでインターネット上に公開できるか考えることができる。 ・セキュリティ上よいとされるパスワードを考えることができる。 ・著作権の利用について保護されているかどうか適切に判断することができる。 ・電子マネーの利点と欠点を考えることができる。 ・ネット依存になっていないか考えることができる。 ・サイバー犯罪の対策を考えることができる。
				主体的に学習に取り組む態度	・情報やメディアの特性を理解しようとしている。 ・身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめようとしている。 ・発想法を活用しようとしている。 ・情報モラルを身につけようとしている。 ・個人情報を適切に扱おうとしている。 ・被害者にも加害者にもならないためにどうしたらよいか考えようとしている。 ・授業で使われる著作権の扱いについて調べようとしている。 ・身の回りの情報技術の活用場面を知ろうとしている。 ・情報化の進展による生活の変化について理解しようとしている。 ・よりよい情報社会を築くための情報環境について、どのようなことに気を付けたらよいか考えようとしている。
				知識・技能	・コミュニケーション手段の変化について理解している。 ・ネットコミュニケーションの特徴を理解している。 ・デジタルとアナログの違いを理解している。 ・数値のデジタル化の方法を理解している。 ・音と画像のデジタル化の方法を理解している。 ・色と動画のデジタル化の方法を理解している。 ・情報を圧縮する方法を理解している。 ・情報デザインの方法を理解している。 ・ユニバーサルデザインとは何かを理解している。 ・デザイン思考の流れについて理解している。

２章　情報を伝える (P35～P62)	2	6月6日		思考・判断・表現	・スマートフォンを使う場面を思い浮かべて、スマートフォンがない時代はどうしていたか調査して考えることができる。 ・状況に応じて適切なメディアを選択することができる。 ・情報のデジタル化の利点を考えることができる。 ・文字コードに当てはめて文字をコンピュータで表現することができる。 ・音と画像のデジタル化を再現して表現することができる。 ・色や光の三原色を調整して、コンピュータで色を表現することができる。 ・情報の圧縮方法の違いについて考えることができる。 ・情報を可視化して表現することができる。 ・身の回りにある機器のユーザインタフェースを、より使いやすくするアイデアを考えることができる。 ・問題解決をするために「誰に」「何を」「どのように」取り組んだらよいかをデザイン思考の流れで考えることができる。
				主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーション手段と社会の変化の関係性について考えようとしている。 ・ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。 ・情報のデジタル化の関係性について考えようとしている。 ・コンピュータで数値や文字をデジタル化する方法に興味を持とうとしている。 ・コンピュータで音や画像をデジタル化する方法に興味を持とうとしている。 ・コンピュータで色や動画をデジタル化する方法に興味を持とうとしている。 ・ラスタデータとベクタデータの違いについて興味を持とうとしている。 ・抽象化されているものが何かを考えようとしている。 ・全ての人に使いやすいデザインの工夫や取り組みを考えようとしている。 ・ユーザー分析をして、効果的なコミュニケーションのために情報デザインを行おうとしている。
3章　コンピュータを活用する (P63～P90)	3	9月5日	添削指導，面接指導から問題を選出し、出題する。	知識・技能	・ソフトウェアの仕組みを理解している。 ・論理回路について理解している。 ・アルゴリズムを表現する方法を理解している。 ・プログラムの順次構造を理解している。 ・分岐構造や反復構造を理解している。 ・リストや配列を用いたプログラムを理解している。 ・乱数や関数を用いたプログラムを理解している。 ・モデル化の技能を身につけている。 ・シミュレーションをする技能を身につけている。
				思考・判断・表現	・プログラミング言語の種類を考えることができる。 ・論理回路を真理値表に表現することができる。 ・アルゴリズムを考えることができる。 ・プログラムに表現することができる。 ・モデルを使ったシミュレーションを表現することができる。 ・シミュレーションで表現することができる。
				主体的に学習に取り組む態度	・プログラムの動作の仕組みに興味を持とうとしている。 ・論理回路を真理値表で表そうとしている。 ・アルゴリズムを考えようとしている。 ・プログラミングをしようとすしている。 ・モデル化とシミュレーションをしようとしている。 ・コンピュータによるシミュレーションをしようとしている。
4章　データを活用する (P91～P118)	4	11月7日		知識・技能	・インターネット接続について理解している。 ・インターネットの接続の仕組みについて理解している。 ・サーバとクライアントの意味と役割を理解している。 ・インターネット上のサービスの仕組みを理解している。 ・情報セキュリティの技術について理解している。 ・データベースがどのように活用されているか理解している。 ・データモデルを理解している。 ・データの形式について理解している。 ・データを収集して可視化する技能を身につけている。 ・2つのデータの関係を調べる方法について理解している。
				思考・判断・表現	・インターネットの今後の利用について考えることができる。 ・プロトコルによってどのように通信しているかを考えることができる。 ・認証後に使えるようになるサービスについて考えることができる。 ・ネットワークのトラブルチェックシートを考えることができる。 ・学校内の情報セキュリティを高める技術について具体的な活用例を考えることができる。 ・電子マネーで支払ったときの利点について考えることができる。 ・関係データモデルの利点を考えることができる。 ・データの性質を適切に判断してアンケートに表現することができる。 ・集めたデータに欠損値や外れ値が含まれていたらどのような分析結果になるか考えることができる。 ・2つのデータの関係を分析して表現することができる。

			主体的に学習に取り組む態度	・ネットワークの仕組みについて興味を持とうとしている。 ・コンピュータに割り振られているIPアドレスをどのように調べたらよいか考えようとしている。 ・サーバとクライアントの役割について考えようとしている。 ・インターネット上のサービスの仕組みについて考えようとしている。 ・情報セキュリティを高める技術を実践しようとしている。 ・データベースについて興味を持とうとしている。 ・データモデルに興味を持とうとしている。 ・身近にあるデータに興味を持とうとしている。 ・問題解決のために、データを収集し、分析し、結果を表現しようとしている。 ・2つのデータの間の関係性について興味を持とうとしている。
5章　活動して提案する （P119～P152）	5	12月5日	知識・技能	・ブレーンストーミングで意見を出す技能を身につけている。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用する技能を身につけている。 ・ルールをポスターにまとめて制作する技能を身につけている。 ・人によって情報の受け取り方が違うことを理解している。 ・音楽ファイルを作成する技能を身につけている。 ・画像と文字コードのデータ量の違いを理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェアを使ってピクトグラムを制作する技能を身につけている。 ・情報を可視化するために文書処理ソフトウェアを活用する技能を身につけている。 ・Webページの構造を理解している。 ・絵コンテに基づいて映像作品を制作する技能を身につけている。 ・プログラムを作る技能を身につけている。 ・WebAPIから自分の使いたいデータを取り出す技能を身につけている。 ・モデル化の技能を身につけている。 ・プログラムを作る技能を身につけている。 ・パケット通信の仕組みを理解している。 ・情報を検索する技能を身につけている。 ・データベースで大量のデータを操作することができる。 ・アンケート結果を集計して発表する技能を身につけている。
			思考・判断・表現	・情報を構造化して関係性を考えることができる。 ・情報を可視化してポスターを作成して表現することができる。 ・自分なりのルールを考えることができる。 ・図形の伝達を正しく行うことができるように考えることができる。 ・音楽ファイルの曲をアレンジして表現することができる。 ・データのサイズを考えることができる。 ・情報を抽象化して表現することができる。 ・文章を正確に構造化して表現することができる。 ・情報を構造化して要素どうしの関係性について考えることができる。 ・ターゲットを意識した企画を考えることができる。 ・リストを使って辞書を作り、会話のやりとりができるプログラムを考えることができる。 ・開閉センサのプログラムを考えることができる。 ・自分の問題を解決するためのプログラムを考えることができる。 ・シミュレーションにより家具の配置を表現することができる。 ・動きを分析して、アルゴリズムを考えることができる。 ・ルールに従ってパケットを回すか受け取るかの判断をする。 ・複数の情報の中から目的に合った選択を判断することができる。 ・データの見方を変えることで、傾向を考えることができる。 ・調査するテーマに合わせて適切な質問項目を考え、仮説の検証を考えることができる。
			主体的に学習に取り組む態度	・発想法を実践しようとしている。 ・ポスターを他者と見せ合い、相互評価をしようとしている。 ・マイルールのポスターを発表しようとしている。 ・言葉で図形を正確に伝達しようとしている。 ・音楽ファイルを作成しようとしている。 ・データ量を見積もろうとしている。 ・作成した作品を見せ合い、相互評価しようとしている。 ・作成した文書を見せ合い、相互評価しようとしている。 ・文章の構造化について関心を持とうとしている。 ・作成した作品を見せ合い、相互評価しようとしてる。 ・プログラムの制作に関心を持とうとしている。 ・作成した作品を見せ合い、相互評価しようとしている。 ・プログラムと実行結果を他者と見せ合い、相互評価しようとしている。 ・パケット通信の仕組みに関心を持とうとしている。 ・目的の情報を検索しようとしている。 ・データの管理について関心を持とうとしている。 ・アンケート結果を発表し、相互評価をしようとしている。
○コンピュータの基本操作 （P154～P187）	6	12月24日	知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。
			思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

				主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。